

令和2年度 (一社)北九州市PTA協議会

第13回役員会議 報告

- 令和3年5月6日(木) 会長・副会長会議 18:00～ 役員会議 19:00～
- 北九州市立生涯学習総合センター3階 大ホール
- 出席者(敬称略) 小森・吉井・加藤(大)・有江・大庭・日野・三浦・森谷・田中・江里・坂本(浩)・奥村・李・今林・梅原・船越・西田・藤井・野田・古森・小川・小田・池田・鬼ヶ原・田場・川中・長野・松岡・原田

事務局…溝部・今永・村山

《役員会来訪者説明》

○ 議 事

議事録署名人と「子どもを育てる10か条」の唱和者の指名

☆ 議事録署名人 松岡 原田

☆ 「子どもを育てる10か条」の唱和 田中

☆

《役員会来訪者説明》 なし

《配布物》

1. 会長あいさつ

<会長>

本年度最後の役員会となりました。コロナ禍で始まりコロナ禍で終わる1年間でしたが、子どもたちは歩みを止めることなく学校に行っております。ICTなど新しい学びを吸収しています。我々大人も変わっていく必要があります。子どもたちと一緒に学び、遊び、ともに泣き笑いしていけるような日々になりたいですね。3月で子どもさんがご卒業され、PTAを退任された方も多いと思います。この古巣をいつまでも応援していただきたいと思います。

2. 審議事項

① 令和3年度 総会及び第1回役員会について

○ 総会の次第について

○ 第1回役員会の次第について

<森谷>

総会の次第と第1回役員会について、前回の会議で参加対象者がわかりづらいというご意見をいただいたため、配布資料1頁に掲載している。

*賛成多数により承認。

② 県及び市教育委員会の感謝状贈呈者について

<森谷>

コロナ禍のため、定期総会の感謝状贈呈式は後日郵送対応とする。

*賛成多数により承認

③ 令和3年度の連合会活動補助金の取扱いについて

<三浦>

令和3年度の活動補助金を日P大会に使わせていただきたい、というお願いをかねてよりお話していたが、各連合会から様々なご意見をいただいた。(一社)北九州市PTA協議会の在り方に立ち返った時、確かに日P大会も大切だが、各区の連合会や単位PTAの活動を支えることの方が大切であり、まず市内のPTA活動を支える役割を果たさなければならない。そのため、何度も話し合いを重ねた結果、令和3年度の関しては、全額各区の連合会へ活動補助金として還付することになった。皆様のご意見をうかがいたい。

<松岡>

日 P 大会の予算は大丈夫なのだろうか。

<三浦>

決して潤沢ではなので、できる範囲での予算縮小に力を入れていく。

<小森>

今後、活動補助金の在り方については、令和 3 年度総務委員会において各区連合会の方と一緒に考えていく。

*賛成多数により承認

3 協議事項

① 単位 PTA 活性化事業について（当日追加された協議事項の為、レジュメには記載していない）

<三浦>

単位 PTA 活動活性化推進事業（令和 2 年度はコロナ禍により休止）は、令和 3 年度からは（一社）北九州市 PTA 協議会教育財団が主催することとなった。但し、実務は PTA 協議会事務局をお願いしたいということでお話を受けた。また、令和 3 年度中に行われる PTA 活動の活性化を図るため、大変直近ではあるが、1 学期中に資料を準備して説明会を開きたいという意向を伺っている。日 P 大会の運営をしながら事務処理を行うことになるため、事務局の業務が繁雑になることが予想されるが、なんとかやっていただけないか、との事である。審査会の運営は教育財団が行い、審査会には P 協三役のみの参加で差し支えないという。財団からのお願いを引き受けてよいだろうか。

*賛成多数により承認

<三浦>

単位 PTA 活性化推進事業について、簡単に説明する。

「単位 PTA 或いは連合会で〇〇のような事業を行いたい（※周年行事・備品購入のみの場合は不可）が、予算が不足しているため実施できない」という団体に対し、説明会・審査会などを経て活動補助金をお支払いするという事業である。1 団体につき限度額は 20 万円、全体で 100 万円まで支出される。

<野田>

令和 3 年度第 1 回目の会議で、過去の活動事例集を新連合会長にお配りしてはどうだろうか。実物を見ればイメージがわきやすいと思う。

<三浦>

先ほど説明した内容を新しい方にもご説明する機会を作りたいと思う。

4 連絡・報告事項

① 役員より

○ 令和 3 年度の役員候補について

<野田>

選考委員会で何度も議論を重ね、選考委員同士で懸命に意見を交わしながら役員選考を行った。特に会長の選考に時間を要したため、結果的に例年よりも遅い発表になったことをどうかご理解いただきたい。

なお、従来は教頭会から代表の教頭先生（3 名）に役員として会議に出席いただいていたが、学校側の負担が大きいことを踏まえ、令和 3 年度から先生方の参加を校長会のみとすることになった。役員候補者氏名は配布資料を参照の事。

○ 日 P 全国研究大会の報告と協力等について（別紙資料参照）

<三浦>

日 P 大会ご協力をお願いを本日、別紙資料として配布している。

テーマ会部（各連合会より 2 名程度）、メイン会部（各連合会より 5 名程度）、渉外部（各連合会より 2～3 名）お願いしたい。また、資料を読んで次期連合会長さんに日 P 大会の概要を引き継いでいただきたい。なお、この資料は最終決定ではない。今後の話し合いにより若干の変更が生じる可能性がある。

<小倉北区小 P 連>

締め切りはいつまでだろうか。

<三浦>

各部会の締め切りを案内状に明記し、明日電子メールで令和２年度の連合会長さんへ送付する。

<三浦>

テーマ会について説明する。

テーマ会とは、これからの学校教育、家庭教育、地域活動、PTAの在り方を考えるため、「先生」「子ども」「保護者」という３つのテーマに分かれて討論を行うものである。

第１テーマ会は先生方を中心に、「先生方が考える「生きる」とは何か、学校教育の中でどう伝えるか」について。第２テーマ会は子どもたちがどのように世界を見て、「生きる」ということを感じているのかについて。第３テーマ会は保護者が考える「生きる」ということはどういうことかについて。いずれも正解を求めるための討論会ではなく、議論を交わすことを目的としている。テーマ会はリアルタイムではなく事前収録になる。

メイン会は、８月２１日（土）当日に４,０００名のPTAが西日本総合展示場に集い、リアルタイムの討論を聴くことになる。どのような状況下であっても、「生きる」というテーマについて、深く振り返って考える機会は大切であると考えている。

<田中>

配布資料のタイムスケジュールを見ると、１４：４０から１５０分間、シンポジウムが行われるようになっている。これが「メイン会」という討論の場にあたる。このシンポジウムの中で第１～３テーマ会で事前収録した内容のダイジェストを放映し、現地で討論を行ってもらうことになる。故に、テーマ会の収録は５月～６月には撮影を終えていなければならないが、日本PTA全国協議会からの修正指示やコロナ禍により様々な方向修正を重ねたため、未だ着手できていない。急ピッチで進めているところである。

メイン大会部は当日のお手伝い、テーマ会部のお手伝いは討論会への出演もしくは収録のお手伝いなどをお願いすることになる。

<八幡東区中Ｐ連>

一人の人間が複数の部会に重複して所属してもいいのだろうか。

<三浦>

かまわない。

<田中>

活動内容も日程も違うため、手伝ってくれる方の都合のよい形でお願いしたい。

<三浦>

現地に来場できない方もいると思うが、北九州市内のPTA全員に見て貰いたいと思っています。期待していただけるような内容を作っていくつもりである。

<森谷>

締切について、テーマ会が５月２０日（木）まで、メイン会が６月末まで、渉外部は随時、ということ明記して再度案内文書を作成し、後日連合会長にお送りする。

○ 広報誌コンクールの結果について

<溝部>

コロナ禍の中での募集だったが、想定よりも多くの学校にご応募いただき感謝している。

小学校の部からは１３校、中・特別支援学校の部からは１０校の応募をいただき、日本PTA全国協議会に出品する作品を７名の審査員で選定した。後日、審査結果を各学校にお知らせする予定である。なお、広報委員研修会の延期が決まっているが、中止となる可能性がある。その場合、表彰式での賞状授与を郵送に代えさせていただく。

* 審査結果

優秀校（小学校の部）… 大里柳小、志井小、守恒小、あやめが丘小、高見小、塔野小
（中特支の部）… 思永中、高見中、守恒中、菅生中

審査員 日笠眞裕美先生、教育委員会 佐藤文俊様、Ｐ協三役、母親代表、広報部長

② 連合会より なし

③ 校長会より

<中学校校長会>

本日、まん延防止重点措置の前段階として、教育委員会から通達があった。かなり厳しい内容だった。実は校長会と教育委員会はこのGW中、連日会議を行っていた。学びを止めないために何を削っていくのかを話し合っていた。一つ目は「体育大会の延期」、二つ目は「練

習試合、保護者の立ち位置」である。昨年度行えなかった部活動の大会を成立させるためこは辛抱しよう、という思いの下、練習試合の中止などさまざまな施策が行われる予定である。昨年の3年生はフレンドシップマッチ（区内の1～2校が寄り添って試合をする）のみだったので、今年はなんとか大会を実施したい。しかし、大変厳しい状況が続いている。昨年度は学校行事に保護者が来校できない、観覧できないことが多くあったが、今年度は保護者の方に少しでも子どもたちの学校活動の様子を見て貰えるようにしたいと考えている。そのためにも、今は辛抱の時期であるように考える。通常の生活に戻っていくまで、安全を確保して参りたい。どうかご協力をお願いしたい。

<会長>

学校現場の様子をぜひこの月例の会議の場でお伝えいただけたら有難い。

④ 常置委員会の活動報告

<教育環境委員会>

子どもたちのオンライン会議の編集が終わった。名前の誤字などを出演された生徒さんに確認し、おそらく5月中旬には配信できると思う。Web アンケートを設置する予定である。アンケートの内容を確認しながら、北九州 City 宣言を作成し、子どもたちが今後コロナ禍で困ったこと、これからの展望などを発表していくことになる。5月13日（木）にもう一度教育環境委員会を行う予定である。

<研修委員会（代理：森谷）>

P T A会長・副会長・役員研修会の講演をオンラインで配信中である。内容は到津の森公園 岩野俊郎園長先生の動物の生態や命についての講演。配信期間は4月19日（月～5月15日（土）まで。

⑤ 事務局より

<事務局長>

総会は「令和3年度の各区連合会から選出された連合会長以外の4名」が代議員となる。総会終了後、第1回役員会議を行う。

また、広報委員研修会の延期に伴い、各学校の広報委員会の活動に役立ててもらうため、令和元年度の講演で講師の先生が配布された資料をP協の公式HPに掲載してもよいだろうか。掲載してもよいことを確認する。

・5月、6月行事予定表

・令和3年度 総会 6月5日（土）15：30～ ステーションホテル5階 飛翔の間
次回役員会（新役員による）は、

6月5日（土）17：00～ ステーションホテル5階 飛翔の間

⑥ 質疑応答

<若松区小P連>

子どもたちの部活の大会ができるように我慢しなければならない、というお話を受けたが、具体的にどのような自粛が必要なのか、具体的な文書を教育委員会名義で出してもらえたらよいのではないか。

<中学校校長会>

大変厳しい内容の措置ではあるが、お伝え出来る範囲内で文書を発出している。例えば、学校に来校した保護者は、たとえ送り迎えであっても学校玄関から中には一切入れない、部活の大会会場において、仕切り線の内側に入ることができない、健康観察簿を必ず提出するなどが挙げられる。具体的な内容を発出できるように取り組んでまいりたい。例えば学校備品関係の取引業者から陽性反応が出た場合など、さまざまな事例に対するガイドラインが教育委員会から発布されている。各学校で丁寧に対応していきたい。

<田中>

単Pの保護者からの情報提供を紹介する。最近、登下校中に子どもの写真を撮られた、という事案が多く発生している。近隣の小学校区でも毎月1回ほど報告を受けているようだ。また、盗撮を受けた子どもが警察とやりとりを行った際、「自分のことで大変なことになるってしまった」とショックを受け、PTSD（心的外傷後ストレス障害）のような症状になることもあると聞いた。少年少女の写真を携帯に大量に入れていて逮捕されている人もいる。そういった事案が多くあるため、登下校時に名札を外して登下校してほしい。

名札は在校時のみ胸に付けて、登下校は外すようにしたらよいと思う。近年、本当に何が起

こるかわからない。近所の公園で写真を撮られたという事案が多いため、子どもを守るための自己防衛について検討したい。

<中学校校長会>

学校独自の取り組みに困るかと思うが、ほとんどの学校がクリップ状の名札を採用しており、登下校中は外すように指導している。